



～木屋保育所（黒木町木屋）～

# 議会だより や め

No.146 平成26年11月1日



ふるさとへの感謝と誇りと愛着。そして、未来へ。

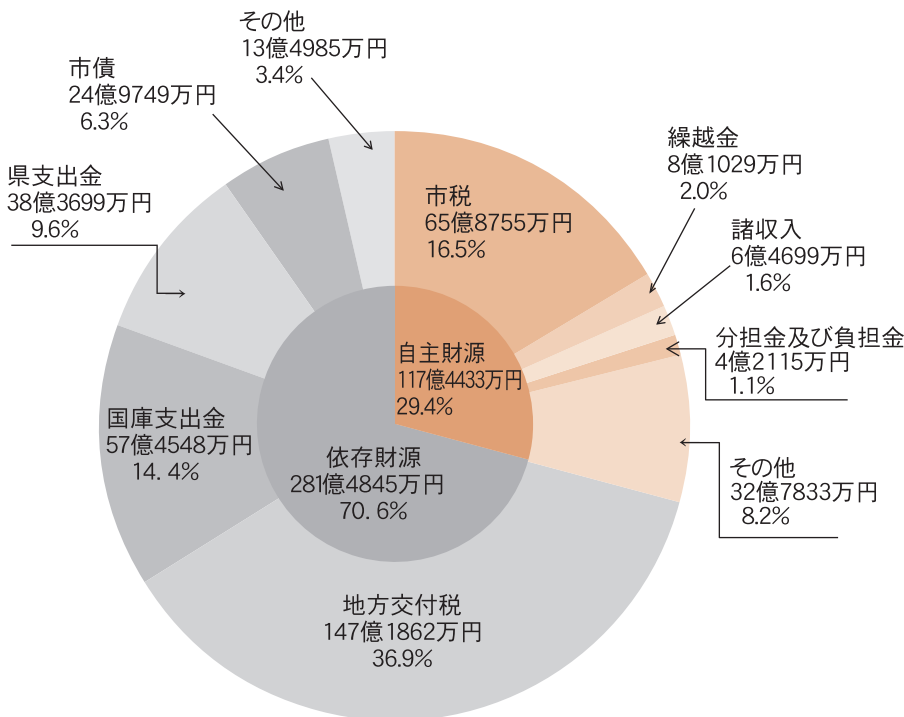
八女市は市制施行60周年・合併5周年を迎えました。

- P 2 **予算はどう使われたか** ～25年度決算～
- P 5 **空き家問題解消に向けて条例を審議**
- P 9 **ここが聞きたい!** 一般質問 **12人** の議員が登壇
- P 17 **11月に議会報告会を開催します**



# どう使われたのか

## 歳入 398億9278万円



※千円以下を切り捨て

9月定例会は9月3日から9月26日までの24日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、9406万円を追加する一般会計補正予算、空き家等の適正管理に関する条例案など議案13件と平成25年度決算認定（一般会計、特別会計11、水道事業会計）が提案されました。また、最終日に議員提出の意見書案2件が上程されました。いずれも原案どおり可決・認定しました（賛否表P18）

平成25年度の一般会計決算額は、歳入総額が398億9278万円、前年比9.3%の増加となっています。歳出総額は358億6472万円、前年比2.2%の増加となり、そのうち30億7223万円が、翌年度へ繰越して支出する財源で、実質的な黒字は9億5582万円です。

また、このうち5億円を財政調整基金（貯金）に積み立てています。黒字となった主な理由は、歳入面において市税等が見込を上回ったことや歳出面において工事費の執行残や経常経費等の節減によるものです。

**◆歳入**  
 市税が歳入全体の16.5%にあたる65億8755万円、前年度より2億3876万円（3.8%）の増収となっています。地方交付税が36.9%にあたる147億1862万円、前年度より10億9888万円（7.4%）の増収となっています。自主財源は70.6%にあたる281億4845万円、前年度より117億4433万円（41.7%）の増収となっています。

**◆歳出**  
 民生費が最も高く全体の30%近くを占めています。また、復旧工事費の増加により災害復旧費が2番目に高くなっています。

25年度の主な事業は次のとおり

- へき地へリポート整備事業（黒木町、酒井田） 1億7650万円
- 子育て支援総合施設建設事業 2億9385万円
- 小中学校空調設置事業 2億9295万円
- 岩戸山歴史文化交流館（仮称）建設事業 4億3954万円
- 伝統工芸館改修事業 2971万円

平成25年度  
一般会算  
平一決

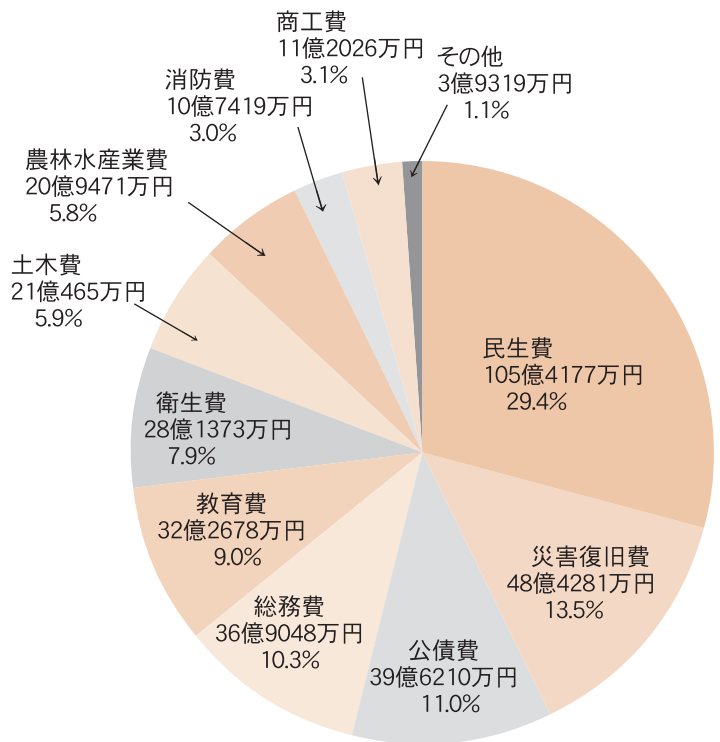
# 市の予算は

## 歳出 358億6472万円

### 反対討論(要旨)

正規職員は減り続けているが、それを補うように増えているのが、臨時・嘱託職員である。現在、正規職員が約6割で臨時・嘱託職員が約4割である。人件費削減のためだと思いが、公務員としての職責を考えるなら、臨時・嘱託職員は必要最低限度であるべきではないか。

八女市でも豪雨災害復旧工事など、多くの公共工事が行われており、労務単価の大幅な引き上げが行われたが、末端の労働者には行き渡っていない。なかには上がるどころか引き下げすら行われているのが現状である。□頭では指導したということだが、むらに徹底した指導を求める。



### 監査委員の意見(要旨) (倉員監査委員、朽網監査委員)

一般会計の歳入についてみれば、自主財源比率が前年度に比べると2.05ポイント増加しており、これは依存財源である地方交付税は減少しているものの、自主財源である基金からの繰入れや市税収入等の増加によるものである。歳出については義務的経費の構成比率が36.95%で前年度に比べ2.58ポイント減少している。また、経常収支比率は前年度の82.8%から82.6%と0.2ポイントの減少となっている。借金の割合となる実質公債費比率(3か年平均値)においても9.0%で前年度に比べ0.5ポイントの減少となっており、現在の将来負担比率が維持されるようさらなる努力を望むものである。

特別会計については、ほとんどの会計で一般会計からの多額の繰入金により黒字が保たれており、決して健全な運営とは言えない状況が続いている。今後、地方交付税が段階的に減額されれば、今以上に基金に頼らざるを得ない緊迫した財政状況となってくる。特に、国民健康保険事業においては、税率の据え置きが続いており、今後さらに医療費等の増加を危惧するところである。

また、地方交付税の段階的な減額に伴い、今後自治体による経営努力が切実な課題となってくるため、安定した財源の確保と収納率向上になお一層努められるよう切望する。





# 空き家問題解消に向けて 条例を審議

**問** 条例にある管理不全な状態とは。

**答** ①老朽化または台風等の自然災害のために、空き家等が倒壊し、または空き家等に用いられた建築材料等が飛散するおそれがある状態。

②空き家等に不特定多数の者が侵入することにより、火災または犯罪が誘発されるおそれのある状態。

③空き家等の敷地内の草木が繁茂することにより、周辺の生活環境に著しく害を及ぼす状態。以上3点を管理不全な状態と定義している。

**問** 自治組織や市民活動団体等の役割も条例に書かれているが、どのような役割をお願いしようと考えているのか。

**答** まずは情報提供をしていただきたい。それから管理不全な建物の所有者に対して声かけをしていただきたい。

また、窓や門が開けっ放しになっている、不特定多

数の人が出入りしそうなところがあれば、地元の方で閉めていただくとか、あるいは草や樹木がはみ出して通行に支障をきたしているようなところがあれば、枝打ち等の措置もお願いしたい。

**問** 器具の貸出しをするのと書かれているが、ユンボのような重機まで考えているのか。

**答** 草刈り機やカマ、ご等の貸出しは考えているが、重機等の貸出しは考えていない。

## 議員定数と議会改革を学ぶ

〈議会運営委員会研修報告8月21日〜22日〉

今回は、地方議会総合研究所主催の「議員定数を考えるセミナー」を受講し、2日目は、千葉県柏市議会における議会改革について視察を行った。

議員定数を考える要件として

- ①合議体としての効率的な運営。
- ②多数の住民が推す優れた人材の選出。
- ③地方公共団体の組織全体との均衡。
- ④議会の権能を發揮できる組織体であることの4点を重視する事が大事である。

定数については、減数を前提の議論ではなく、当該自治体の将来を見据えた議論をすべきである。

柏市議会の改革については、平成22年12月以降、議場の改修と大型スクリーン設置、賛否の採決ボタンシステムの導入などのハード面の取り組みと、本会議における自由討議の実施や、議員の政策提案等の環境整備、議員発議による「条例」の制定など具体的な改革として実績を上げている。

議会基本条例は制定していないが、各党派、事務局を含め、常に議会改革の意識を持ち、積極的に推進する体制が整っている。特に



柏市議会議場で説明を受ける委員

### 八女市にどう生かす

議員定数については、人口比例、常任委員会数、議会経費、類似市との比較等の検討要因もあるが、すでに平成22年に八女市議会において議論された内容を再確認することができた。

議会改革について、今後は、議会基本条例制定の意義を議員一人ひとりが再認識し、改革に臨む事が重要である。

# 委員会審査

## 総務文教

### 審査の主なもの

- 八女市空き家等の適正管理に関する条例の制定について (全員賛成で可決)
- 平成26年度一般会計補正予算 (賛成多数で可決)
- ・総務費 2076万円

### 八女市空き家等適正化条例制定

**問** 安全対策を緊急に行った時に、費用の徴収が難しい場合があるのではないかと。

**答** 法的手続き等を含め、審議会の中で物件ごとに精査して、慎重に対応していきたい。

所有者等に自分の財産は自分で適切に管理する責任があることの周知に努めたい。

**問** 所有者が特定できない場合は行政代執行ができないのではないかと。

**答** 行政代執行をするためには措置命令をしなければならず、相手が特定できないと命令は出せない。緊急安全措置により危険を回避していきたい。

**問** すべての空き家を対象とするのか。

**答** 条例は八女市内で適

用されるが、不特定多数の人が被害を受ける場合でないとは動き出すことができない。

いろいろな空き家の状態を見て、地域の方々や行政区長の協力を仰ぎ、審議会等の意見を聴きながら判断していきたい。

空き家バンク設立時調査の空き家の数

地域	空き家の数(戸)	備考
八女市	未調査	旧八女郡の行政区長からの報告に基づく (平成22年)
黒木町	187	
立花町	135	
上陽町	121	
矢部村	17	
星野村	88	
合計	548	

八女市危険住宅基礎調査による空き家の数

地域	空き家の数(戸)	備考
旧八女市	166	八女市消防団からの報告に基づく (平成24年)

## 厚生

### 審査の主なもの

- 八女市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の制定について (全員賛成で可決)
- 八女市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の制定について (全員賛成で可決)
- 八女市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について (全員賛成で可決)
- 平成26年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
- ・社会福祉総務費 2025万円
- ・保育所費 456万円

### 来年4月から子ども・子育て支援新制度が開始

**問** 子ども・子育て支援新制度とは。

**答** 幼児期の質の高い教育、保育の総合的な提供、量的拡大及び確保等、地域における子ども・子育て支援の充実を図るため、平成24年8月22日閣連法案が成立し、新制度が創設された。

新制度では、これまでの保育所、幼稚園に加え、保育と教育の両方を行う

認定こども園や地域型保育施設が新設される。

そして、市内の19保育所、5幼稚園すべてが新制度に移行する予定で、このことにより保育の質と量的拡大が図られる。

園、地域型保育施設についても、現行の保育料のよ

に於いて、国の基準をもとに市が金額を決めるが、今後子ども・子育て会議で十分検討していく。

**問** 同一給付となると独自の教育・保育ができないのでは。

**答** 独自教育・保育をした場合、加算措置もある。





# 議会の動き

## 8月

- 1日 商工会・商工会議所と議会との意見交換会
- 5日 全員協議会
- 7日 福岡県南広域水道企業団議会
- 19日 男女が輝くネットワーク八女と総務文教常任委員会との意見交換会
- 20日 議会運営委員会  
平成26年第4回臨時会  
行政区長会と議会との意見交換会
- 21日 議会運営委員会視察研修（～22日）
- 28日 八女西部広域事務組合議会
- 29日 議会運営委員会

## 9月

- 3日 平成26年第5回定例会（招集日）  
全員協議会
- 9日 本会議（一般質問）～11日
- 12日 本会議（議案審議）  
予算審査・決算審査特別委員会全体会
- 16日 委員会・分科会～18日
- 24日 予算審査・決算審査特別委員会全体会
- 26日 平成26年第5回定例会（最終日）
- 29日 公立八女総合病院企業団議会

## 10月

- 1日 厚生常任委員会視察研修（～3日）
- 2日 建設経済常任委員会視察研修（～3日）
- 3日 福岡県南市議会議長会（大野城市）
- 7日 全員協議会  
議会だより編集委員会
- 14日 議会だより編集委員会  
厚生常任委員会
- 15日 総務文教常任委員会  
福岡県市議会議長会（太宰府市）
- 27日 議会だより編集委員会視察研修（～28日）
- 29日 八女地区消防組合会議

# 建設経済

## 審査の主なもの

○財産の取得について（土捨て場用地）	（全員賛成で可決）
○新庄五差路交差点改良に関する請願	（全員賛成で採択）
○平成26年度一般会計補正予算	（賛成多数で可決）
・農林水産業費 778万円	
・商工費 367万円	
・土木費 300万円	
・災害復旧費 2722万円	

## 商店街に防犯カメラを設置

### 一般会計補正予算

**問** 防犯カメラの設置箇所数及び、プライバシーの問題を含め、管理・運用面はどうするの。

**答** 清水町、日の出町、大正町の各商店街（各5台）、合わせて16台を設置予定。プライバシー等については、八女警察署管内に防犯カメラ設置者協議会を立ち上げ、目的と情報の保護に対して適切な管理運営の指導を行なう。

### 財産の取得について

**問** 災害復旧工費用の土捨て場として購入するにあたり、購入単価の基準はどうか。

**答** 購入予定の土地と隣接する道路改良及び現在、土捨て場として使用している山林の買収費と同等額で算定している。

### 新庄五差路交差点改良に関する請願

審査にあたり、紹介議員より請願内容の説明を受け、この交差点改良については、現在要望活動が行われているが、今後もしや強く県に対して、要請をしていくことが必要であるなどの意見が出された。

土捨て場購入予定地を視察する委員（上陽町下横山）



# 意見書

## 「手話言語法」制定を求める意見書(要旨)

請願者 八女聴覚しょうがい者協会 会長 大神 哲也 紹介議員 樋口 安癸次

2006(平成18)年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されています。日本政府は障害者権利条約を批准し、すでに成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む。)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められました。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成26年9月26日

福岡県八女市議会

提出先 内閣総理大臣

## 建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図る事等を求める意見書(要旨)

請願者 福岡建設労働組合八女支部 倉員 政文 紹介議員 松崎 辰義 森 茂生

アスベスト(石綿)被害は現在でも、建物の改修、解体に伴うアスベストの飛散が起り、従事者や住民に被害が広がる現在進行形の公害です。東日本大震災で発生した大量のガレキ処理についても被害の拡大が心配されています。

建設業従事者に最大の被害者が生まれていることが特徴です。それはアスベストのほとんどが建設資材などとして建設現場で使用され、そして国においても、建築基準法などで不燃化、耐火工法として、アスベストの使用を進めたことに大きな原因があります。

特に建設業は重層下請構造や「従事者が数多くの現場に渡って就労する」ことから、労働災害として認定されることにも多くの困難が伴い、多くの製造業で支給されている企業独自の上乗せ補償もありません。

また、被害者の多くが高齢化し、それに伴う病状の進行を考慮すれば、被害者の救済に向けて速やかな対処が求められます。

よって、建設アスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策及びアスベストの拡散を防止する対策を直ちにとり、アスベスト問題の早期の解決を国に要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

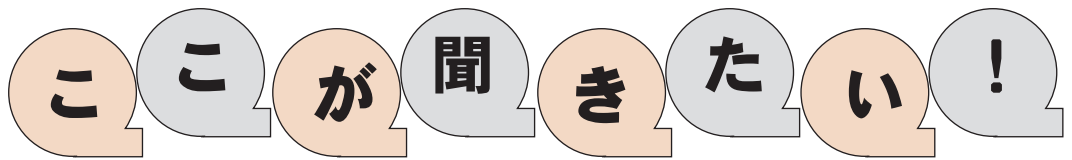
平成26年9月26日

福岡県八女市議会

提出先 衆議院議長、参議院議長

内閣総理大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣、環境大臣

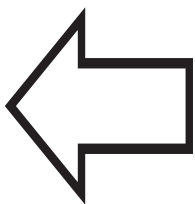




# 一般質問

月 日	質問者氏名	質 問 事 項
9月9日 (火)	樋 口 安 癸 次	1 過疎化する地域の道路改良について
		2 県道船小屋八女線をつなぐバイパスの新設について
		3 市営住宅の建設について
		4 白木和水町間のトンネルについて
	樋 口 良 夫	1 農業用加温ハウスにおけるバイオマスボイラー活用について
		2 今後の林業対策について
		3 自然再生可能エネルギー(太陽光発電)について
	牛 島 孝 之	1 空き家対策について
		2 小中学校の児童・生徒の安心安全について
		3 機構改革について。それに伴う庁舎問題
	松 崎 辰 義	1 環境問題について
		2 安全安心のまちづくりについて
9月10日 (水)	三 角 真 弓	1 教育行政の今後の方向性について
	小 川 栄 一	1 老老介護の現状とこれからの対策
		2 消防体制の現況
	石 橋 義 博	1 経済と人口流出の因果関係
		2 市民の生活状況と幸福度
		3 これらに対する対策と措置
	森 茂 生	1 市債について
		2 公契約条例について
		3 生活保護について
9月11日 (木)	大 坪 久 美 子	1 人口減少の原因となった少子化対策について
		2 治療から予防への医療について
	萩 尾 洋	1 少子化対策について
		2 雇用促進住宅改修事業について
		3 雇用創出について
	伊 井 渡	1 高い市職員給与、手当、人件費について
	橋 爪 房 義	1 市小中学生の学力の現状について
		2 道路改善事業懸案箇所の早期実現対策について
		3 予約型乗合タクシーの運営状況について

《一般質問の詳しい内容》



## 鞍懸町内の市道を4メートルに拡幅すべきではないか



樋口 安葵次

**答** 平成26年度に舗装工、側溝工等の測量設計を行い次の段階に移っていきたい



八女農業高等学校北山実習所入口

**問** 県道玉名八女線の北山地区の用地買収と物件補償はどうなっているのか。

**答** 八女県土整備事務所で着実に進めていただいている。本年度は用地測量、建物調査など完了したところから随時契約の協議を行い、平成29年度までの工事予定となっている。

**問** 県道玉名八女線と県道船小屋八女線をつなぐバイパスはどうなっているのか。

**答** 基本的には県に要望していることが一番の方向性ではないかと考えている。

**問** 今度購入予定の雇用の促進住宅をしようがい者と高齢者が住めるような市営住宅に改修されたらどうか。

**答** しようがい者と高齢者を含め、改修工事の検討を行っていききたい。

**問** 白木一和水町間のトンネルはどうなっているのか。

**答** 今年の4月に和水町の町長選があり、町長が交代をして福原氏が就任された。新町長は矢部谷峠のトンネルに関心を持っていると聞いており、積極的に八女市と取り組んでいくと断言をいただいている。

**問** 現在、化石燃料を輸入し資金が海外に流出しているが、木質チップは地域の林木を加工し燃料にする事で地域に資金が落ちる。今後、市内でポイラーを使用している民間の業者にも考えている

**答** のか。

**問** 病院、福祉施設、製紙会社等に対し導入メリット調査を行っている。市内ゴルフ場が現在工事中で、バイオマス民間導入第一号である。

**答** 森林施業、間伐を含め市として15%の補助をしているので、今後も継続したい。また、森林経営計画の中で団地内での間伐面積30ヘクタール以上を5ヘクタールにするように国に要望している。



樋口 良夫



燃料費に悲鳴

**答** チップ含水率は15%位が最適で業者に乾燥機の導入を図る

農業用加温ハウスでのバイオマスボイラー活用結果は

今後の林業対策は

**問** 山林は二酸化炭素吸収、温暖化防止、国土保全水源涵養等生活上不可欠であるが、材価低迷で管理不足になり赤信号がとまっている。今後どう対応するのか。

**答** 森林施業、間伐を含め市として15%の補助をしているので、今後も継続したい。また、森林経営計画の中で団地内での間伐面積30ヘクタール以上を5ヘクタールにするように国に要望している。



# 小中学校の児童生徒の安心安全について敷地への不審者の侵入対策は



牛島 孝之

**答** フェンスの破損などについては、予算化をしたい



上妻小学校正門付近

**問** 小中学校で敷地内に除草剤を散布した学校の数は。

**答** 小学校で15校の内13校、中学校で10校の内8校で使用している。

**問** 今後は、除草剤についてどうされるか。

**答** 子どもたちが教育活動で立ち入るような場所には散布しない。

**空き家対策について**

**問** 八女市の空き家の数は。

**答** 平成22年調査時、旧八女郡において548戸。平成24年調査時旧八女市内で166戸の合計714戸であり、危険家屋数に

**問** 平成26年度中に立ち上げるのは難しく、状況を見ながら検討したい。

**答** 平成26年度中に立ち上げるのは難しく、状況を見ながら検討したい。

については平成26年8月末現在で11件となっている。今後空き家バンクの事業を本年の10月から対象エリアを市全域に広げていきたいと考えている。

**機構改革と庁舎問題について**

**問** 機構改革研究委員会のメンバーに民間のメンバーが入っていないのは、

**答** 内規の規定が職員で構成となっているため、職員で研究している。

**問** 庁舎検討委員会について立ち上げは。

**答** 平成26年度中に立ち上げるのは難しく、状況を見ながら検討したい。

**答** 平成26年度中に立ち上げるのは難しく、状況を見ながら検討したい。



松崎 辰義



工場

**環境問題**

**問** 「うすま・ふぁーむぱーく」の改善計画の進捗状況はどうなっているのか。

**答** 26年8月に完了し、その後臭気測定を行い、基準値の12を下回る10未満であったが、悪臭が全く

**問** 悪臭が全くない状態ではなく、今後

**答** 26年8月に完了し、その後臭気測定を行い、基準値の12を下回る10未満であったが、悪臭が全くない状態ではなく、今後

悪臭が基準値以下になったとはいえず、今後もきちんとした対策を

**答** 南筑後保健福祉環境事務所長と直接協議をした

**問** 自主防災組織はもちろん、行政区長会や未来づくり協議会等にも、お願いしたい。

**ハザードマップについて**

**問** マップを作成後は、それぞれで避難経路や避難場所の確認、要支援者の誘導など、専門家や財政的支援も行いながら、

**答** 地域支援課で地域状況を把握し指導しているが、全体を把握しているとは言えず、今後検討して統一的に取り組んで行く。

**問** 地域支援課で地域状況を把握し指導しているが、全体を把握しているとは言えず、今後検討して統一的に取り組んで行く。

**答** 地域支援課で地域状況を把握し指導しているが、全体を把握しているとは言えず、今後検討して統一的に取り組んで行く。

**問** 地域支援課で地域状況を把握し指導しているが、全体を把握しているとは言えず、今後検討して統一的に取り組んで行く。

# 教育現場の現状と対策いかんでは、子ども行政の一元化を考えるのか



三角 真弓

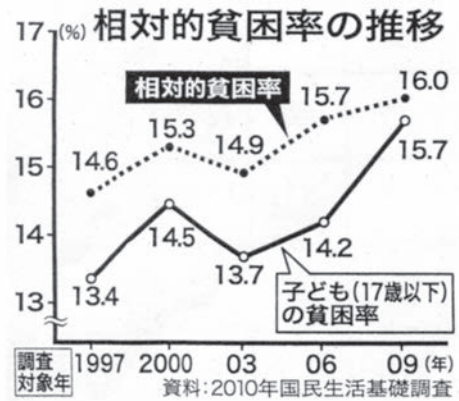
**答** 関係課における相互の連携、共通理解を図っていく

**問** 子どもたちを取り巻く環境は厳しいものが多いが、教育の機会均等を着実に実現していくための課題の解決が急務である。また、子どもや若者の貧困に見られるような格差社会となり、親から子への「貧困の連鎖」を防ぐ必要がある。不登校・いじめ・ひとり親・発達障がい・統廃合した学校・現場の教師等の現状について。

**答** 不登校は平成25年度では小学校15人、中学校31人。同じくいじめの認知率は小学校10件、中学校10件。ひとり親世帯は約700世帯。発達障がい児等は特別支援学級に小学校51人、中学校23人が学習。統廃合した学校にはスクールカウンセラーの活用や巡回相談を実施。現場の教師等へはメンタルヘルス相談事業の周知や、産業保健センターの医師に面談できる体制。

**問** 今後、スクールソーシャルワーカーの増員を図りながら、家庭の支援、学校の支援を地域での支援も視野に入れながら取り組んではどうか。

**答** 今後は八女市教育サポートセンター（仮称）を設置したい。



**問** この状況に市はどう対処していくのか。

**答** 夫婦や兄弟など高齢者だけの世帯は2938で12%。高齢者が64歳以下と同居している世帯は、7928で33%。2025年には高齢化率は現在の31%から38%を超える見込み。



小川 栄一

**問** 国の中の介護保険制度改正の中で一番の課題として地域包括ケアシステムの構築、充実強化がうたわれている。現在市に2ヶ所の地域包括支援センターがある。今後は、旧町村単位にセンターを設置することの検討を進めている。

**答** 国の今回の介護保険制度改正の中で一番の課題として地域包括ケアシステムの構築、充実強化がうたわれている。現在市に2ヶ所の地域包括支援センターがある。今後は、旧町村単位にセンターを設置することの検討を進めている。

**答**

高齢者一人暮らし世帯が3888で全体の15.7%

(本文に続く)

高齢者世帯の現状と、団塊の世代が75歳になる2025年の高齢化率は

**問** これからの介護にはますます医療との連携が必要となるが、市はどう対処していくのか。

**答** 既に八女筑後医師会とも取り組みを進めている。県の保健福祉環境事務所との連携で民生委員の研修会や意見交換も実施している。地域のかかりつけの医師にも参加いただき、みんなで情報共有しながら積極的に進めていくように行政としても支援していきたい。公立八女総合病院は医療相談の支援として、実践として動くのは開業医にお願いする。



## 経済と人口流出の因果関係についての対策と措置



石橋 義博

**答** 就職や進学を理由に福岡市等都市圏へ人口流出が続いている

**問** 人口流出対策は。  
**答** 人口流出対策として、既に今福工業団地に企業誘致を完了し、就業機会の確保に努めている。また、高速道を使いパーク・アンド・ライドを整備し都市圏への通学、通勤の環境整備に努めている。移住者対策についても空き家バンク事業や八女産材を利用した住宅への助成等を通じて促進を図っている。

**問** 市民の生活状況と幸福度はどうなのか、また、それについての対策と措置は怎么样了っているか。  
**答** 毎年市民アンケートにより行政サービスに対する満足度、重要度の調査を実施している。その調査結果をヒトとして次の施策充実強化につなげていく。また、アンケート調査による課題の発見と解決策の実施、これを繰り返すことにより施策の充実を図り市民一人ひとりの幸福度、満足度の向上につなげていき好循環のシステムを構築し、将来に希望を、持つて幸福を実感できる社会作りを進めていく。



パーク・アンド・ライド

**市債について**  
**問** 6月に1人当たり市債（借金）が60万円と答弁されたが、これでは誤解が生じる。一般の借金は元金、利息とも全額返済しなければならぬが、市の場合には交付税措置があるため全額返済する必要はない。実質返済しな



森 茂生

ければならない金額は、**答** 一人当たり20万円。  
**問** 誤解が生じないよう公表の在り方を変えるべきでは。  
**答** 国、県と協議して公表の在り方を検討する。

**公契約条例について**  
**問** 八女市が業務委託している所の、パートの時は給は。  
**答** パート等の時給は712円〜800円。  
**問** 最低賃金は712円。最低賃金が、それに近い賃金しか支払われていない。また、公共工事では、最初の契約の所までは把握出来ていても、その後が把握出来ていない。税金で、そして市の責任で発注されているので、賃金まで含め実態を調査するべきでは。  
**答** 賃金、積算等現状では把握できていない。調査は検討する。

**答** 地域経済の活性化につながる調査研究する

公契約条例を制定するべきでは

## 保育料の無料化を前向きに検討していただきたい



大坪 久美子

**答** 各世帯の所得に応じた負担をお願いしたい

**問** 人口減少の原因となった少子化対策について保育料の無料化の検討と同じく給食費についても無料化の検討を。

**答** 学校給食法第11条により、学校給食を受ける児童または生徒の保護者の負担とすることを明記している。現時点においては学校給食の無料化は考えていない。

**問** 治療から予防への医療について

**答** 男性の検診率向上を図るための一つとして、がん検診とは別にリスク検診としての取り組みができるよう検討している。

**問** 以前質問した際に、ヘリコバクターピロリ菌感染を考慮した検診については、国の評価により

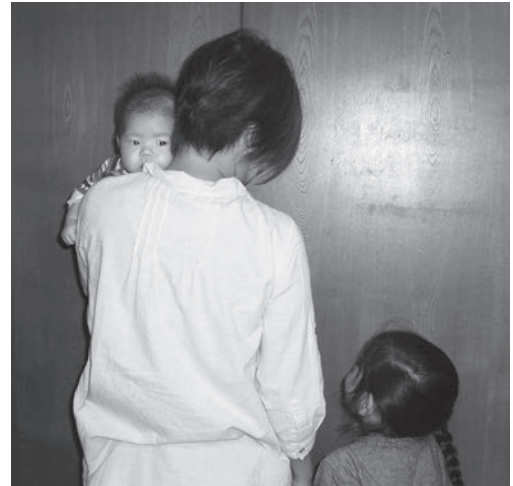
**答** 公金を用いて検診するには、きちんと科学的根拠があるものを実施したいのが基本的にあるので、現段階では難しい状況にある。

**問** 今後、検討していくとの答えだったが、その検討の内容は。

**答** 公金を用いて検診する際には、きちんと科学的根拠があるものを実施したいのが基本的にあるので、現段階では難しい状況にある。

**問** 年々増加している前立腺がんを検査項目に組み入れる検討を。

**答** 男性の検診率向上を図るための一つとして、がん検診とは別にリスク検診としての取り組みができるよう検討している。



萩尾 洋

**問** 子育て世代を呼び込む手立ては。

**答** やめっ子夢祝金事業を始め、乳幼児期の子育て支援を総合的に支援するやめっ子未来館を建設し、安心して子供を生み育てる環境づくりを進めている。

**問** やめっ子夢祝金の増額は考えていないのか。

**答** 3カ年事業として取り組んでおり、今年度で3年目を迎える。できれば

**問** 室岡宿舎の今後の対策は。廃墟と化しており、非常に危険な状態だが。

**答** 支援機構に、安心・安全の確保、環境の保全に努力するよう再度申し入れをする。

**問** 雇用創出について

**答** まず受け入れ態勢を整え、企業誘致を候補地とした所についての道路整備に現在取り組んでいる。



**答** 次世代育成支援対策に基づき、積極的に取り組んでいる

少子化対策について、具体的にどのような対策を考えているのか

# 固定資産税等市税滞納者は、払わないのではなく払えないのでは



伊井 渡

**答** 納税相談を行い分納での緩和措置もしている

**問** 市職員平均年収約650万円、年間人件費約900万円は、市内給与所得者平均年収約350万円、人件費約450万円に準ずるのが本当では。

**答** 同じ職種、学歴、年齢、正規社員同士で比較すべきであり、非正規社員も対象とする議員の考えには疑問がある。

**問** 職員と市内従業員の人件費格差は約450万円にも達し、全職員の給与が高過ぎ、人件費かかり過ぎは、八女市の全固定資産税収約33億円に匹敵する膨大な額となる。

**答** これでは市民の皆様は、本来払う必要のない固定資産税を払っていると言っても過言ではない。また、滞納者は1517名にも達している。早急に市職員給与を、市内給与所得者水準に適正化し、その財源で固定資産税等の大幅引き下げ、償却資産税の廃止をすべきでは。

**答** 職員給与を減額し、減税しても市民サービスの向上、八女市の経済発展、人口流入は見込めない。地域の民間企業に合わせる職員給与が変わる。人事院勧告が順当。



橋爪房義

**問** 小中学生の学力向上対策  
平成19年度に全国学力テストが復活して以来、本市中学生の正答率は、毎年、福岡県下の平均より低い。学力向上対策は、

**答** 全市の教職員を対象に授業力向上研修会、小中9年間を系統した、



市道広川線荒廃状況

小中連携教育指定を行い学力の向上を目指している。また、各小中学校に少人数指導教員、特別支援教育支援員及び介助員、必要な学校図書司書の配置等きめ細かな教育環境の質的向上に努めている。

**問** 市道広川線は、上陽

**答** 朝夕の増便は、路線バスとの共存体制上出来ない。経費のほとんどは、国庫補助金と過疎債である。

**問** この事業は、特に高齢者向けの通院、買物等まさに、生きるための公共交通機関である。課題等は。

**答** 予約型乗合タクシー事業

**答** 市道広川線の長期間全面通行止めに対し開通対策はどう考えているのか

関連する県の地すべり対策工事にあわせ随時復旧していく



## ICTを活用したまちづくり 全国の自治体に先駆け

〈岩見沢市〉

岩見沢市は全国の地方自治体に先駆けて光ファイバー網を整備し、教育、福祉、医療、農業など幅広い分野におけるICT（情報通信技術）利活用を進め、新たなビジネス機会の場と捉え雇用の創出を進め、これまでに59社の企業進出と620名の地元雇用がなされてきた。

まず、医療の分野においては、北海道大学病院と市の総合病院及びかかりつけ病院とをネットワークで結び「病診連携システム」を実現し、診断の結果やその対応において医療業務のスピードと診療経費の軽減を実現している。

また、教育分野においては、地域児童見守り事業として、ICTタグをランドセルに取り付け、登下校による情報を発信し、地域の小学生の84%が取り付けてお



り、90%以上の満足度を得ている。また、高齢者にも対応されていて地域で子供や高齢者の支援に大きな影響を与えている。

農業の分野においては、気象情報はもちろんのこと、ほ場における耕作、田植えから作物の病害虫予測など、独自の施策を展開している。

## 0歳児から小学校卒業まで 全国初の複合施設

〈札幌市〉

資生館小学校は、市内中心部の児童減少と校舎老朽化に伴い、4つの小学校を統合して建設され、都心部という立地条件を生かし、子育て支援総合センター、保育園、ミニ児童会館（いわゆる学童保育）を一体化した複合施設である。

このように、0歳児から小学校卒業まで、一つの施設で過ごせる複合施設は、全国初である。小学校の児童数は592名と多く、保育園などを完備しているため、手狭感はないが、警備員の常時配置や監視カメラの設置等により安全で安心な施設である。

複合施設の利点を生かし各施設の自然な交流が生まれるように、共有スペースを設け、4施設の代表者による連絡会議を月に1回行い情報を共有する



オープンプラザになっている教室を視察する委員

など、0歳児から児童期までの一貫した支援が行える施設である。

## 移住相談ワンストップ窓口を 設置

〈深川市〉

北海道深川市は、様々な移住定住施策を盛んに打っており、その成果も徐々に効果を上げてきている。近隣町村との合併後、市は移住定住施策のはじめとして、移住相談ワンストップ窓口の設置を行い、その後地域振興課の設置も行われ、結果193名の移住者実績をあげている。

主な施策として、合併浄化槽設置事業（市の事業）、空き地空き店舗活用事業助成制度、新規就農支援事業、住宅助成制度などが

あり、多彩な事業とサポートは確かに魅力的なものである。また、入所2人目の保育料無料化、中学3年生までの医療費無料化など、深川市独自の子育て支援策も充実している。

また、移住定住者における「移住者交流会」を開催し、問題や課題の対応に好評を得ている。

### 八女市にどう生かす

今回の視察を終え、それぞれの市の特性を生かした施策は、最終的に住民生活の向上につながる。地域経済の活性化にもつながっていると考えられる。八女市においても、定住施策や子育て支援事業等、様々な施策の充実を図っているが、今後は、その様々な分野の施策を総合的に結びつけた八女市独自のまちづくりが課題ではないか考えます。

# 議会報告会を開催します

～開かれた議会をめざして～

本年度も、21の地区で議会報告会を開催します。

この議会報告会は、市民のみなさんと議員が自由に情報及び意見を交換することによって、議会の活動状況や結果を知ってもらうことも、議会活動等に対するご意見、提言により議会活動を活性化させ、今後のよりよいまちづくりに活かしていくための開催するものです。ごなだでも参加できますので、ご都合のよい会場へお気軽にお越しください。

「八女市議会基本条例」

第6条 議会は、市政

全般にわたって、議員及び市民が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を行うものとする。

地区名	月 日	時 間	会 場	担当	
八女市	福島	11月17日(月)	19:00	八女市役所 205会議室	4班
	長峰	11月 8日(土)	19:00	吉田公民館	3班
	上妻	11月13日(木)	19:00	八女市総合体育館 研修室	2班
	三河	11月 6日(木)	19:00	八女市多世代交流館(共生の森)	1班
	八幡	11月 5日(水)	19:00	西公民館	3班
	川崎	11月 4日(火)	19:00	東公民館	2班
	忠見	11月12日(水)	19:00	忠見北公民館	5班
	岡山	11月 8日(土)	19:00	室岡公民館	5班
上陽町	上陽	11月18日(火)	19:00	上陽公民館	1班
黒木町	黒木	11月 7日(金)	19:00	黒木開発センター	1班
	豊岡	11月26日(水)	19:00	豊岡コミュニティセンター	4班
	串毛	11月14日(金)	19:00	串毛コミュニティセンター	5班
	木屋	11月 7日(金)	19:00	木屋農村環境改善センター	5班
	笠原	11月 7日(金)	19:00	笠原集会所	3班
	大淵	11月 5日(水)	19:00	大淵基幹集落センター	2班
立花町	光友	11月13日(木)	18:30	八女市立花市民センター	4班
	迎春	11月 5日(水)	19:00	迎春コミュニティセンター	1班
	北山	11月13日(木)	19:00	北山コミュニティセンター	3班
	白木	11月11日(火)	19:00	白木コミュニティセンター	2班
矢部村	矢部	11月27日(木)	19:00	矢部公民館	1班
星野村	星野	11月21日(金)	19:00	星野支所 大集会室	4班

◎は班長、○は副班長

1班 ◎草場 賢一郎 ○川口 奉文 川口 誠二 樋口安癸次 服部 良一 萩尾 洋  
 2班 ◎栗原 吉平 ○月足 靖彦 井上 賢治 栗山 徹雄 中島 信二 石橋 義博  
 3班 ◎中島 富定 ○三角 真弓 松崎 辰義 寺尾 高良 吉田 達志 小川 栄一  
 4班 ◎樋口 良夫 ○牛島 孝之 森 茂生 井本 政弘 井上 寿義 橋爪 房義  
 5班 ◎角田 恵一 ○大坪 久美子 赤木 達男 朽網 英文 松木 道 伊井 渡

# 8月臨時会・9月定例会で審議した議案の賛否

【○は賛成・●は反対・―は議長職のため採決には加わりません】

8月臨時会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	三角	小川	石橋	伊井	牛島	萩尾	角田	服部	中島	草場	吉田	大坪	橋爪	寺尾	栗原	樋口	松木	井上	月足	井本	中島	川口	森網	朽山	栗上	井木	赤崎	松口	樋口	川口
議員提出議案第3号	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
報告第8号	報告事項のため、採決はありません																													

9月定例会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	三角	小川	石橋	伊井	牛島	萩尾	角田	服部	中島	草場	吉田	大坪	橋爪	寺尾	栗原	樋口	松木	井上	月足	井本	中島	川口	森網	朽山	栗上	井木	赤崎	松口	樋口	川口
報告第9号	報告事項のため、採決はありません																													
報告第10号																														
報告第11号																														
報告第12号																														
報告第13号																														
報告第14号																														
議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	閉会中の継続審査																													
委員会提出議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	適任と認める																													
選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



# 8月臨時会・9月定例会で審議した議案の結果

## 8月臨時会

議員提出議案第3号 福岡県議会議員選挙区割り見直しに関する意見書	否決
報告第8号 専決処分について（交通事故による損害賠償）	報告

## 9月定例会

報告第9号 医療法人財団クリニックくろぎの平成25年度決算及び平成26年度事業の計画の報告について	報告
報告第10号 株式会社クリエイトやべの平成25年度決算及び平成26年度事業の計画の報告について	報告
報告第11号 一般財団法人星のふるさとの平成25年度決算及び平成26年度事業の計画の報告について	報告
報告第12号 一般財団法人秘境柚の里の平成25年度決算及び平成26年度事業の計画の報告について	報告
報告第13号 一般財団法人FM八女の平成25年度決算及び平成26年度事業の計画の報告について	報告
報告第14号 平成25年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第56号 八女市社会福祉施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第57号 八女市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例及び八女市若年者の専修学校等における技能習得資金の貸与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第58号 八女市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例及び八女市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第59号 八女市立図書館条例及び旧木下家住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第60号 八女市空き家等の適正管理に関する条例の制定について	可決
議案第61号 八女市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の制定について	可決
議案第62号 八女市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の制定について	可決
議案第63号 八女市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について	可決
議案第64号 財産の取得について	可決
議案第65号 財産の取得について	可決
議案第66号 平成26年度八女市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第67号 平成26年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第68号 公平委員会委員の選任について（浅田 秀敏）	同意
認定第1号 平成25年度八女市各会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号 平成25年度八女市水道事業会計決算認定について	認定
請願第3号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	採択
請願第4号 新庄五差路交差点に関する請願	採択
請願第5号 建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図る事等を求める意見書に関する請願	採択
請願第6号 集团的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出を求める請願	閉会中の継続審査
委員会提出議案第4号 「手話言語法」制定を求める意見書	可決
委員会提出議案第5号 建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図る事等を求める意見書	可決
人権擁護委員候補者の推薦について（松崎 保元）	適任と認める
花宗用水組合議会議員の補欠選挙（梶 勇人）	当選

# インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

[http://www.city.yame.fukuoka.jp/gikai/gikai\\_top.html](http://www.city.yame.fukuoka.jp/gikai/gikai_top.html)

## 議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail [yame\\_city\\_gikai@city.yame.lg.jp](mailto:yame_city_gikai@city.yame.lg.jp)

## 行政視察来訪 (8月-10月)

- 長崎県波佐見町議会
- 佐賀県議会
- 広島市議会
- 筑前町議会
- 富山県砺波市議会
- 東京都武蔵村山市議会
- 兵庫県姫路市議会
- 山形県上市市議会
- 新潟県南魚沼市議会
- 滋賀県甲賀市議会
- 山口県柳井市議会
- 東京都目黒区議会
- 奈良県大淀町議会
- 愛知県津島市議会
- 栃木県上三川町議会
- 北海道音更町議会
- 愛知県知多市議会
- 鳥取県米子市議会
- 福井県勝山市議会

## 次回定例会

# 12月上旬 予定

## 午前10時～立花庁舎議場

## お詫びと訂正

議会だよりやめ(平成26年8月1日発行)8ページの森茂生議員の一般質問の記事の中で、キウフルーツかいよう病の被害面積が「225ヘクタール」となっていますが、正しくは「225アール」でした。お詫びし訂正させていただきます。

## 編集後記

50年前の秋、私は米国カリフォルニア州の片田舎で、世界各地からの出稼ぎ労働者と共にオレンジの収穫作業に追われていた。突然近くの消防署のサイレンが鳴り止まなくなった。当時、人気絶頂だったケネディ大統領の暗殺だった。あれから半世紀、あの時幼かった娘のキャロライン・ケネディ氏が現在駐日大使として活躍している。

当時、米国農村は家族農業から法人化や会社農業へと激変しており、誰でも市民権を取得すれば、会社を設立して、社長としてアメリカンドリームを追い求めていた時代であった。

一方、日本では終戦直後の農地改革によって耕作主義の理念の下、極少規模の家族農業が乱立したまままで今日に至っている。

この歴史的較差の日本が今、TPP交渉で難航しているが、当たり前の成り行きと感している。

世界は、国際化・グローバル化のなか、日本政府がどうこの2国間較差に対応するのか注目したい今日この頃の心境である。

草場 賢一郎

発行責任者  
議長 川口 誠二

議会だより編集委員会  
委員長 大坪久美子  
副委員長 伊井 渡

委員 森 茂生  
委員 寺尾 高良  
委員 橋爪 房義  
委員 草場賢一郎  
委員 角田 恵一  
委員 萩尾 洋  
委員 牛島 孝之